



鎌倉の猫事情 第六十二話

COLUMN

痩せこけたグーニーの身体を抱き上げると、可哀そうにグーニーは、私の腕の中で力なくぐったりとして感情をなくしたような目を泳がせていました。慌てて毛並みを確かめてみると、確かにつやがなく、かさかさしているようですが、まだべとつについてはいません。ばあちゃんが昔、「猫は死ぬ前に毛がべとつくんだよ」と言っていたのです。本当かどうか知らないけれど、とにかくまだ大丈夫なようです。私はすぐ戸締りをして猫がだれも外へ出かけないようにし、主治医の先生のところへ行く準備をしました。グーニーに獣医さんのところへ行くことを感づかれて逃げられてはいけなと思ったのですが、ゲージを持ってきてでも抵抗する元気もないようでした。車で獣医さんのところへ着くまでグーニーは、まるで捕らえられた野生の動物のように、険しい目をして唸り続けていました。

診察室の中では精一杯の抵抗をみせて、ゲージから一步も出るまいと力の入らない前足を踏ん張っていましたが、先生と助手の女の人と私と3人がかりでは、そんな抵抗は通用しません。ただ一つほっとしたのは、グーニーにたいして前から優しくした先生がこの日の当番だったことでした。この先生なら獣みたいに荒れ狂うグーニーの面倒をあきれずに見てくださるだろうと思ったのです。私の予想はあたり、この日この先生に診てもらえた事で、この先長い間の治療にずっとあたって頂けることになったのです。大柄で体格の良いこの先生は、見た目は少し強面のようですが、頼りがいがあり、小さな目はなんと優しい感じがするのです。先生は診察台の上で小さくなったグーニーの身体を大きな手のひら触り、助手の方が測った熱を見ていました。そしておもむろにグーニーの顔に手をかけ、口の中を見ようとしたとたん、ギャアとすごい悲鳴をあげて抵抗しましたが、先生はもう一度しっかり口を開けたので、もうなんの抵抗もできず、されるがままになっていました。口の中を見終えると、先生は「口の中がひどく荒れて傷ついています。とにかくかなり弱っているので、今日は入院させて下さい。点滴して、少し検査もしますから」私は不安に思いましたが、とにかく先生にお任せして預けることにしました。先生は、不安そうな私を見て「今晚お電話しますよ」と、言って下さったのです。約束通り夜8時頃電話がありました。「グーニー君、今は落ち着いて眠っています」



「ああ、よかった」「それで、ですね…この猫は飼い猫ですから、特に狩猟で獲物を捕らえなくてもいいわけですね?」「は?それは、どういう…」「つまり、奥の歯を抜こうと思うのです。ひどく口の奥がただれていて、危険なのです。原因はよくはわかりませんが、猫アレルギーが原因の一つだと思います。危険と言われては、とにかく先生にお任せするしかありません。『では、明日の夕方、迎えに来て下さい』…歯を抜くって、歯医者さんみただけで、それでよくなるなら、案外簡単にすむのかな、なんて考えていました。グーニーは歯が痛くてあんなに弱ってたのかしら? 裏路地中の猫を敵に回して喧嘩してたからきっと口に雑菌でも入ったのかしらん。とまあ、そのときはまだ私ものん気に考えていたのです。後になって、あんなに大変なことになって行くとは、思ってもみなかったのです。

———— to be continued



Holy

|||||

ん… まだ、真夜中の2時?
 ね、眠い… 静かな夜だ。だけどなんだかいやな気分だ。風もないのに天井の羽目板のずれたところがゆらゆらしてる。ちゃんと直さなくちゃ。そんなちょっとしたことが気になって寝つかれなくなる。こここのところの不眠で睡眠にはどれほど気を遣ってかしのれないのに。さんざん苦労して、あちこち模様替えをして、テレビでやってた占いでベッドの向きまで変えて、布団も新調してやっと眠れるようになったのに、なんでまたこんな時間に目が覚めるかな。今度は天井をちゃんと直して…ええい、もういいやそんな事、とにかく寝なくっちゃ。「目が覚めたかな? ずいぶんとぐっすり眠っていたようだね」と、いつかの悪魔が寝直そうとする私の顔を覗き込んだ。真っ黒なマントに身を包み、手には薙しの鎌を光らせて、相変わらずの大袈裟な衣装で立っている。「あ、ああ… やっぱり、あなたでしたか。どうりで変な空気だと思った。しばらくぶりじゃないですか」「ふむ、君も今晚はそれほどご機嫌斜めでもないらしいな」「ええ、まあ、ね。私なんか不機嫌になったからって悪魔は気にもしないでしょうけど… 今日にはまた何か御用?」「いや、別に用でもないんだ。あんまり姿を見せないと君が心配するかと思ってね」「心配って、いったいあなたの何を心配するんですか? ああ、そういうえ、お友達が前のクリスマスの時に、随分あなたのことを心配して探してましたっけ。どこかに落っこたんじゃないかって」「ふむ、そんなことがあったかな」「そのときから気になってたんですよ。悪魔が落っこちるって、いったいどこからどこへ落っこちるんですか? それに天使も一緒に落ちたとか」「うむ、我々は君達より、少し高いところにいるんだよ。普段はね」「少し高いところにいる? なんか見下したような言い方だな… それにクリスマスに、天使はともかく、悪魔がどうして用があるんでしょうかね」「君には、まだまだわからないことが多いのだよ。つまり我々の存在が大宇宙そのもの、偉大な真理なのだよ。君には分からんかも知れんがね」「…ずいぶん勝ち誇ったような言い方ですね」「またそうやって、不機嫌になる。せっかくだ模様替えをして、我々の足元もすっきりして通りやすくなったとほめて来たんだ。そんなことでは真理などわからんよ。クリスマスくらい機嫌よく暮らしたらどうかね」「ええ、あ、…その通りで…すみません」「分かればよろしい。まあ、せいぜいよく眠ることだ…」そう言うと、ふうっと闇の中へ消えて行った。悪魔に説教されるとは… それにしても、クリスマスと悪魔と、どんな関係があるの? …… 22222



TOPICS

KAMAKURA now

ささめやゆき 鎌倉四十八景

鎌倉在住の版画家であり、挿絵画家としても活躍中のささめやゆき氏が長年かけて、自ら鎌倉を散策して描いた、鎌倉の四季の絵葉書セットを発売しました。まだまだ知らない鎌倉を見つけて下さい。

第一シリーズは、春・夏・秋・冬の4セット。
秋のシリーズにはミルクホールも紹介されています。
春夏秋冬 1セット 4枚入り 450円

Information

ミルクホールオリジナルグッズのお知らせです。
ささめやゆき氏イラストのミルクホールのオリジナルグッズのうち、グラスが製造できなくなりました。今現在の在庫は残り少なくなっています。お求めのお客様はお早めに。

新発売 グーニーマグカップ近々発売!

ミルクホールオリジナルグッズに鎌倉の猫事情でお馴染みのグーニー君のマグカップが近く仲間入ります。お楽しみに。



THE LAST LIVE

2006

by HALF MOON

12/16 Sat pm 7:30

HALF MOONの音楽は
愛と平和を歌います。

12/31 Sun.

pm 10:00 - - - - am 0:00

<http://www.e-half-moon.com/>

琢磨 仁 (Jin Takuma)
琢磨 啓子 (Keiko Takuma)

大晦日の夜は、
ミルクホール恒例の
カウントダウンパーティです。
2006年最後の夜を
ミルクホールで過ごしませんか?
ハーフムーンのライブと、
MILK HALLのBAR TIMEを
2007年の年明けまで
お楽しみください



★ミルクホールでは、
ライブチャージは
頂いておりません。
通常のメニューを
お楽しみ下さい。

Milk Hall Times

ミルクホール30周年記念
1976~2006

ミルクホールタイムス総集編

「鎌倉ミルクホールタイムス」
1st ~ 100th
¥1800

人気連載中の「鎌倉の猫事情」が第一話から掲載されています。他に、ミルクホール30年の逸話、思い出の数々。



HISTORY

KAMAKURA

場所の記憶 No.9 ミルクホール その1

ミルクホールを開店して30年、正確にはその2年前にミルクホールの前身であるフルハウスを今現在のミルクホールの店先にオープンさせていました。始めは彫金のアクセサリーとアンティークを扱う5坪程度の小さなお店でした。時代は70年代で、ディスカバージャパンと、古い日本、地方の日本を見直そうという時代でした。なんだか今とあまり変わらないようですが...ともかく、その風潮にのって、若い観光客達がぞくぞくと、京都、奈良、鎌倉へと出かけたのでした。折よく開店したフルハウスは、手作りブームの風潮にも乗り、銀や真鍮の彫金アクセサリーで大変好調なスタートを切ることが出来たのです。そして、その様子を見たマスターは念願の飲食店を開店させようと、フルハウス開店から2年後にミルクホールを自らの気の長い工事によって完成させ、今へと続くわけですが、その前に、何故そもそもこの小町の裏通りにお店を構えるに至ったのかを、ぐんと数十年の昔へとさかのぼってお話していきたいと思えます。それは、私(筆者)も、創業者のマスターもまだ産まれる前のお話で、その昔を知る色々な方から聞き及んだお話ですから、あいまいな点も多いかとは思いますが、その点をご容赦いただき、ミルクホールが誕生する過程と、その昔の鎌倉の風景に、私達と共に思いを馳せて頂きたいと思えます。

ミルクホールがこの小町に現れる、ずっと前に鎌倉駅前に、「磯見旅館」という大きな旅館がありました。それは現在の三菱東京UFJ銀行のある場所に建っていました。

当時「磯見旅館」は、大そう繁盛した旅館だったと聞いています。



次号へ続く

ミルクホールオリジナル 和の小もの
大正・昭和初期時代の絹の着物の布地を
素材に使った和の小もの色々です

つくり帯
半衿・帯揚げ
くるみボタン
かんざし

ミルクホールでは、
大正・昭和初期の着物をほぐし、
昔の絵柄の豊かさと、古い絹の
やわらかい 手触りを生かして、
半襟や帯揚などを作っています。
夢二の描いた女性達のように、
絹の着物なら、花柄の半襟、
帯揚げは明るい色の絞り・・・
などと、自由に楽しい
組み合わせを
お楽しみ下さい。

ANTIQUES

着物・古着

★★木綿着物 新入荷

素朴な味わいのある藍染めの木綿の着物多数、
入荷しました。今では数が少なくなっています。
ある時は小粋に洒落て、ある時は仕事着感覚で。
木綿の単衣の着物は、ざぶざぶ洗って使えるのが
魅力です。試してみてください。

大正・昭和初期に大流行した銘仙やお召しの
の着物も入荷しています。

久留米緋	¥7800より	人気の大島紬
銘仙着物	¥6500より	¥9800より
お召し	¥6800より	他、小紋やちり緋など



✂ 帯・つくり帯

着物は普段着慣れていないと、おっく
うになってしまいます。せめて帯は簡単
に結びたいものです。
何本かつくり帯を持っていると着物
が身近になってきます。
初心者の方はもちろん、着物に慣れた
方にも、お気に入りのつくり帯をお持
ちになることをお勧めします。
またお買い上げの帯もつくり帯に
お仕立て致します。

半幅帯蝶結び	¥2000より
名古屋帯おたいこ	¥4800より

✂ 古布・ボタン

★明治藍染布団皮
★端布色々 新入荷
楽しい端布が沢山入りました。
大きき色々使い色々、絞りや、紬、
銘仙、モスリンなど。昔の着物を解い
て作っています。

★★くるみボタン
小¥100 より 大200円



✂ かんざし

★ミルクホール製花のかんざし
大正・昭和初期の着物の生地で
可愛い花のかんざしを作りました。

花のかんざし ¥2500より
★ミルクホール製木のかんざし
木の棒1本だけで、髪をくるくる
まとめてアップにできます。
髪の長さや質に合わせて、木の
棒の長さをお選び下さい。
木のかんざし ¥1800より

✂ 半衿・帯揚げ

着物はコーディネート
で楽しみたいもの。
昔の着物をほどいて、鹿の子
絞りや、ちり緋、銘仙など、
昔の生地で作った半襟・帯揚に
仕立て直しました。
安価で素材も豊富です。

半襟	¥800より
帯揚げ	¥800より

★くるみボタンのコーム

古い絹で作ったミルクホールの
くるみボタンでコームを作りました。
同じものが2つとないのが魅力です。

くるみボタンのコーム小	¥1200
大	¥2000



♠ 和洋家具

- ★★昭和20年代三面鏡 ¥45000
- ★★大正時代水屋箆笥二段
- ★★明治時代帳場箆笥二段
- ★★昭和初期鏡台
- ★脇台 ¥12000
- ★箱各種新入荷 ¥4500より
- ★格子建具・蔵戸

◆ アンティーク

- ★レプリカシェード ¥5800より
- ★明治・大正の色ガラス
- ★★アメリカ製カーミット
- 電話機(使用可) ¥18000
- ★★昭和初期レトロポスター
- ★★大正婦人像額絵

♣ 古陶磁

- ★砥部焼新入荷！
鯨の染付、昭和20年代四国
の砥部焼が好評につき
入荷しました。
なます皿、猪口、小皿など
- ★★古伊万里碗入荷
- ★★大正色絵各種
- ★★幕末染付大皿
- ★伊万里7寸皿各種
そば猪口各種
- ★明治九谷絵皿・猪口
- ★大正時代火鉢
- ★初期伊万里陶片
- ★縄文土器欠片

